



# 向陵広場

発行号 第60-1号  
 発行日 令和2年5月19日(火)  
 発行元 向陵編集校友会  
 責任者 伊藤有司 (県商 10 回卒)

陶芸に無限の美を創造 内藤 常次 氏 県商 20 回卒 (昭和 46 年3月)



職業 陶芸家  
 現在 NHK文化センター豊橋 陶芸講師  
 陶歴  
 1992年 豊橋丸栄百貨店にて作陶展開催  
 以後 9回隔年開催  
 2018年 ほの国百貨店にて作陶展開催  
 私の歩み

父が製材業を営んでおり、私は豊商卒業後に東京の同業者の会社に就職し製材に関する修業をし、豊橋に戻り父の元で改めて商売について基本から指導を受けた。

陶芸に興味があり次第にのめり込み、製材業もバブル景気(昭和 61 年～平成3年)が終焉すると大企業を中心とする経済構図となり

個人企業では太刀打ち出来ない状態になった。将来の展望が困難と考え父から受け継いだ製材業にピリオドを打ち、陶芸家に方向転換し現在に至っている。



窯の様子を見る



薪の追加(令和2年4月30日)



登り窯「敬月窯」



窯焼き薪の一部(3カ所に分散保管、全て使用)



# 向陵広場

発行号 第60-2号  
発行日 令和2年5月19日(火)  
発行元 向陵編集校友会  
責任者 伊藤有司 (県商 10 回卒)

「敬月窯」の自分の作品を手にして

窯出日 令和2年5月17日(日) 8時より



「1の窯」作品取出し



「1の窯」参加者の作品



「胴木間」の作品取出し



「胴木間」参加者の作品



「敬月窯」の作品取出しに参加された方々